

2022年～2023年 **ぜひ来てみて！**

「冬期必勝講座」直前まで気を緩めない



① 共通テスト（リーディング+リスニング）

2022年12月～2023年1月（下記太字3回）（3回模擬練習で本番試験に慣れる）

時間内に読み切り最高の点を取っておく！（2次試験のためにも）

筆記対策：毎回、本番と同じような予想問題を3回実施し、適切な時間配分とその後丁寧な解説をします。

- 時間：①12月29日（木） 18:00～21:00
② 1月 5日（木） 10:00am～13:00（午前中）
③ 1月12日（木） 18:00～21:00

すべて3回受講の場合は、12,000円（税込）（内部生11,000円）

学校の補習がある方は回数払いにも出来ますがその場合は受講料は下記の通り

／1回授業料 @4,500円（税込）（内部生@4,000円（税込））



② 難関大読解記述（+作文）クラス（下記太字4回）

12月末で終了する難関大学読解記述のあとは共通テストに全力投球するのですが、せっかく難関読解で慣れた長文読解ペースを1か月空白に出来ません。そこで、1月から4回にわたり国立2次試験の過去問題を解いていきますが、試験であるゆえ時間配分が重要となり実際の試験問題を時間を計りながら解くことに徹します。共通テストに振り回されずマイペースを維持し、目標大学の「長文読解」練習によってさらに向上させていきます。

日 時 2023年1月10日(木)～31日(木) 毎週木曜日 18:30～20:30
月 謝 17,000円（税別） 18,700円（税込）（教材費込み、入学金なし）

月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31
			①共通テスト		
2	3	4	5	6	7
			②共通テスト		
9	10	11	12	13	14
	難関読解		③共通テスト		共通テスト本番
16	17	18	19	20	21
	難関読解				
23	24	25	26	27	28
	難関読解				
30	31				
	難関読解				



2023年1月14日・15日には約51万余の人が「共通テスト」に挑みます。共通テストは3回目なので大体の感触はつかめます。80分内で「リーディング」をしっかりと意味把握出来ればどのような形で出題されようが全く問題はありません。通常の早めの読解で完全に解ききれます。1点違いで数番も異なってきますので、とにかく1点でも多く取る必要があります。このコースでは「よし追い込むぞ」と強い意識を持った人だけが集まるので、緊張感とともに一体感もあり確実に勉強がはかどるのももちろんです。3回ともにリーディング+リスニングの模擬問題だけを行います。身体で80分（リーディング）と約30分のリスニングを集中を切らさずに身体で体得してください。このテストと解説で出る事は試験に即直結。12月からは勉強態勢を朝型にし、1月14日（土）夕方からの第四科目「英語」のリーディング・テスト（80分）とリスニング・テスト（30分）が全力で臨めるようにしましょう。（**体力が必要です**）
例年、年末までは順調でも新年からペースを乱す受験生もいるので、ぜひとも週1回の試験ペースを保てるようにしてください。今までもコツコツとこの冬講座を全て受講し最高の状態を持って行き、以前のセンター試験の本番で196点（200点満点）を取り国立大医学部に合格した女学生もいます。英語や国語では「もうこれ以上することがない」のではなく、とにかく毎日直前まで4～6題を解くことに集中。最後まで安心して来てください。ペースをくずさず、自信をもって本番に臨めるように、当日は「ニコッ」となるように最後の詰めをしましょう！

 **冬期必勝講座**
コース申請フォームはこちらから 

③ 国公立2次対策個人レッスン

2月25日(土)、26日(日)に開催される国公立大学前期2次試験。大学によってはそれぞれ出題形式に特徴があります。あなたが志望する大学の過去問題を順次でいねいに解いていき、その傾向と対策を講じます。

個人レッスンですので、行き届いたレッスンが期待出来ます。ぜひお気軽にご相談下さい。

(外国人による作文練習も出来ます。これで東京大学や京都大学へ合格を果たしています)

日時 2023年1月30日(月)～試験直前まで ご相談の上決めます
授業料 60分個人レッスン 5,280円(税込) 日本人教師



過去8年間には、英語アカデミー在校生のうち3名が東京大学に、2名が京大へ現役で合格。さらに難関国立大学医学部医(東京医科歯科(歯)1名、神戸大(医)1名、岡山大(医)2名、香川大(医)1名、愛媛大(医)2名)へ7名をはじめとして難関大学へ多数合格しています。みなさんの希望によっていろいろな形でお手伝い出来ます。ぜひ一度遠慮なくお気軽にご相談ください。英語が苦手な方もぜひご相談を。

先輩たちは、北大、筑波、早大、慶大、上智、青山、東京女大、東大、一橋、東外大、東京芸大、お茶大、東京医科歯科大、東女医大、横浜国大、横浜市大、金沢、南山、奈良女、京大(医含む)、関外語、同大、立命、関学、阪大、大外大、神大(医含む)、神市外大、岡大(医含む)、広大(医含む)、島根医大、香大(医含む)、愛大(医含む)、松大、高知医大、産業医、九大、カリフォルニア大、エッカード大、トランスパシフィック大などへ多数進学。

先輩から最後の追い込みで一言！

岡山大学医学部(医)合格 J男

僕は英語アカデミーのセンター対策を受け、ひたすらセンター形式の問題を解くことで、受講前140点台だったところを本番では180点以上を取ることが出来ました。リスニングについても同様に慣れが大切です。2次試験は各大学によってさまざまな特色がありますが、僕の受けた大学では英作文がとても重要でした。アカデミーでは、授業の中で英作文の練習があるうえに自由英作文の宿題があり、外国人先生に採点していただけるというもので、大変勉強になりました。自分の受ける大学の問題形式は、慣れていれば解きやすさも格段に違うと思います。

大阪大学外国学部合格 I子

高3になり、クラスではどんどん長文を読むスピードも上がり、模試を受けるたびに自分の英語の能力の向上を実感できました。アカデミー以外で特に英語を勉強することはなかったので、とにかく先生の授業を習得し単語もコツコツ覚ええました。やってよかったと思うのは、徹底した繰り返しです。参考書や単語帳は何冊もいららないと思います。自分の決めた1冊を完璧にする方が、何冊にも手を出すよりずっと力になります。また過去問も2回解けるとより効果的だと思います。

愛媛大学医学部 M子

センター試験の勉強において、アカデミーに通っていて特に良かったと思うことは非常に効率よく勉強ができたことです。私はアカデミーの週2日の授業以外で家でセンター英語の勉強は一切しませんでした。それでも受講する前は良くできて75%しかとれなかったにもかかわらず、センター本番では98%という自分でも納得のいく結果を出すことができました。

九州大学法学部合格 N子

非常に役に立ったのは、先生がまとめてくださった「速読英単語」の単語プリントです。重要なものが厳選されており、それを全て頭に入れるだけでも相当な力になります。自分がまだ覚えられていない単語に印を付け、何度も何度も見直します。センター試験に関しては80分の中で筆記1年分を解き切るという練習も大切だと思います。特に第3問以降は1問の得点が大きいので、そこで落とさないように意識しました。リスニングは、私自身正直苦手と感じていました。何度やっても30点代をウロウロ。それではだめだと思ったので、毎日CDを聞き間違った問題はスクリプトを見直し、とにかく英語を耳に慣らしました。おかげで本番では48点を取ることができました。



冬期必勝講座
コース申請フォームはこちらから



東京大学理II合格 H子

東大は問題形式が独特だったので、慣れも必要だと思い過去問を授業でしました。また自由英作文は校長先生に添削していただくことで、ネイティブの先生からみた自分の単語の使い方や文法の間違いに気付くことができました。1年間で本当に多くの問題を用意してもらえたおかげで入試ではあせらず淡々と解答を進められました。最後まで自分を信じてあげてください。応援しています。

東京大学文III合格 A男

始めの頃にはどうにもならないように思えた英作文も、添削を繰り返すうちに形になっていきました。やはりネイティブの先生に目を通して頂けたことが大きかったと思います。精度・スピード共に上がり、試験の際も自信を持って素早く書き上げることができました。英語アカデミーのおかげです。

岡山大学医学部 M男

英語の成績がパツとしない成績では医学部を受ける武器にもならず、良い塾を探し英語アカデミーに出会いました。アカデミーの講座を受ける中で重要だと感じたことは、自分の解答をプロに見てもらうことです。自分なりの勉強で読解と英作文の問題集を使ってはいたのですが、あくまでも英語に触れることを習慣づけるためのもので、実質の二次対策は全て、アカデミーにまかせていました。

大阪市立大学法学部 S子

センター対策をすれば必ず点は伸びると実感。模試を重ねていくなかで、点数が変動するのは当たり前です。私も模試によって何十点さがったりすることがありました。その時は確かにショックを受けるけれど、くじけずに自信を持つことが大切だと思います。英語の長文は読めば読むほど読解力が身につきます。英単語は覚えれば覚えるほど得をします。覚えすぎるということはありません。私も飽きるほどセンター対策の問題を解き続け、愛用していたDUOの単語を全て覚えきりました。

北九州市立大学外国語学部 M子

長文講座では、制限時間を作って一講座で2,3個解くので時間の無駄がありません。訳や要訳問題や英作は丁寧に添削され、点数も出るのです。自分がどの大学のレベルの問題をどのくらいできるのかがわかります。

香川大学医学部合格 A男

医学部志望だったので、センター試験でも二次試験でも英語の高得点が必要であると考えていましたが、センター試験で総合で84%（自己採点）しか取る事が出来ず、特に今回のセンター試験は、これまでで最も簡単であったと言われていたので、医学部志望である自分には大きなダメージでした。結果的に、志望校を受ける事が出来ませんでした。でも英語アカデミーでは、大学の傾向に合わせて多くの長文と英作文を提供してくれ、すべて丁寧に解説してくれたことです。大量にこなしたことで、二次試験本番前には大きな自信となっていました。二次試験への出発前日まで面倒を見てくれた先生方に感謝しています。

横浜国立大学工学部 S子

英語が大嫌いの私ですが、英語アカデミーに通って、1週間もすると以前は見るだけで嫌になっていた長文に何の抵抗も感じなくなり、少しずつ早く読めるようになりました。また、センター対策では様々な傾向の問題に触れることが出来たので本番で少し違う問題が出て、平常心で解くことができました。英語アカデミーに通っていて良かったです。もっと早くから始めたかったです。

愛媛大学総合政策合格 H男

僕は英語が苦手でしたが、センター対策では配点の高い所を間違わないように読み取り方や配点の低い所でもしっかり教えてもらい大変助かりました。英作文は自分で書いた文をアカデミーの外国人の先生が添削してくれるので、自分の書いた文の誤りや他の書き方がわかり本番に臨みやすくなりました。結果、自己採点八割弱というそこそこ良い成績を取ることが出来ました。本当にアカデミーさままでした。

愛媛大学医学部（医）合格 T男

英語アカデミーでは適度な人数で、集中して取り組み、何より最大のメリットは、問題形式に慣れることで解答所要時間が大幅に短縮され、長文に臨む時間がより多くとれるようになったことです。それまでの僕は、常に時間が不足し、みすみす点を失っている状態でした。

香川大学工学部合格 Y子

長文は速読がキーポイントです。速読するためには、構文や文法はもちろんで何といても単語です。私は、英単語のゴロあわせを作り、カードを作りとやってみました。英単語を覚えるにあたり近道はありません。毎日英文を読み、読むことに慣れると自然と覚えやすくなります。自分を信じて、先生を信じて大学入試を乗り越えてください。

大阪市立大学商学部合格 Y子

単刀直入に言って「英語は手遅れにはならない」ということ。アカデミーでは繰り返し単語を確認するので非常に効率良く単語が覚えられます。点数が飛躍的(?)にのびるようになったのは冬の直前特訓でした。毎回本番と同じ量を解きリスニングもします。この演習をすることによって時間配分や解くコツ、自信がつかえました。後輩のみなさんの健闘を祈ります。

奈良女子大文学部合格 N子

もし、「センター対策」をアカデミーで受講しなかったらと思うとゾッとします。今年のセンター試験は傾向が変わっていましたが、精神的にゆとりをもって落ち着いて受験することができたのは、アカデミーでやったセンター対策直前講座のおかげです。

島根医科大(医)合格 C子

アカデミーの「センター対策」を受講して良かったと思うのは、自信がついたことです。問題量の割には短い試験時間、たまに変わる問題形式などの不安要素を全て取り除くことができ、本番では落ち着いて取り組むことができました。授業で配布される単語のプリントを繰り返しチェックし、瞬間英文法で文法事項を楽しく覚え、時間を計って本番のように問題を解けば大丈夫だと思います。

京都大農学部合格 K男

記述対策はアカデミーで予想問題を添削してもらい自分で気づかないところを修正。特に英作文は自分で添削することは不可能。1問ごとに添削して下さったので弱点を見つけることができ本番でも安心して解くことができました。

愛媛大学教育学部合格 E子

センター直前講習では、時間配分を決めて問題を解いたり、模擬テストをしたりするのが主な内容です。センター試験で一番重要なのは、時間配分。英語アカデミーで何度も時間を決めて問題を解いていたおかげで、時間の感覚が身につく、本番でも見直しの時間を十分にとることができました。英単語を徹底して何度もくりかえし勉強していたおかげで、スムーズに文を読めました。

広島大学教育学部合格 R子

アカデミーでは授業のいろいろな所で問題を解く「コツ」を教えてください。これを全部聞いていたら、180点どころか190点も夢ではないと思います。

愛媛大学法文学部合格 S子

私が苦手な文法は、アカデミーのコンパクトにまとめてあるプリントの方が効率も良く、いいと思います。長文はとにかくたくさん読むことが必要です。ここでは速読が役に立ちました。試験は時間との勝負なので、少しでも速く正確に読めた人の勝ちです。私は1日1題以上読むことを目標にやっていたのですが、それによって力が付いたと感じました。

京大工学部合格 N男

「四当五落(睡眠時間が5時間だと落ちて、4時間に削れば合格する)」なんて言葉がありますが、これは全くの出鱈目。自分にあったやり方で集中して勉強すれば、少ない時間でも多くのことを学ぶことができます。身体を壊しては意味がありません。アカデミーの2次対策講座では志望大学の傾向に囚われず、いろいろな形式の問題をこなせるように学習するので、出題形式が変更されても自信を持って対応できたのが勝因でしょう。

お茶の水大文学部合格 A子

私が一番単語を覚えられたのは、授業の最初に毎日行われる単語チェックです。一日に百個の単語を覚え、次の日にちゃんと覚えているかどうかテストをし、間違えた単語はその次の日に新たに覚えた百個と一緒にもう一度テストするというものです。一回ではなかなか覚えられなかった単語も、一週間続けることで覚えられるようになりました。

明治大学文学部 A子

長文はアカデミーで読む練習を重ねてきたのもあり、かなり読むスピードが速くなっていたのを実感できました。「長文はとにかく毎日読むこと」と先生がいつもしつこく授業で言われていたので、私立の1ヵ月前には、1日に何題も長文を読んでいました。今思うのは、長文はやはり毎日読むことに限ると思います。

産業医科大学(医)合格 Y子

英語が苦手、一人では不安という人はアカデミーのセンター対策を受けるのがベストだと思います。私も実際に講座を受けましたが、文法に強くなりとてもタメになりました。

一橋大学(経)合格 T史

大学受験を通して一番有効だったことは、基本的な事ですが「語彙を増やすこと」でした。私はセンター試験終了後、自分の語彙力のなさに改めて痛感し、語彙を増やしながらか英語の長文に触れる毎日を過ごしました。語彙力があれば、英語の長文もなんとか読める程度になるでしょう。